

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 腫瘍 WHO2021 年新分類はグリオーマ生検手術の診断精度向上にて
新たなエビデンスをもたらすか？

研究の目的

脳深部に発生した悪性グリオーマ（悪性神経膠腫）は全摘手術が困難なため生検手術となります。生検の場合、検体量不足にて必ずしも正確な診断ができないことが時折あります。

一方 WHO2021 年新分類は 2016 年分類の発展解消的な基準が明記され、正確に診断することは新たな予後エビデンスをもたらすと予想します。稀少な生検検体にてどの程度正確に診断できるのか過去の症例を WHO2021 年分類で再検討し、WHO2016 年とどう変わるか検討します。

研究実施期間： 2022 年 6 月 3 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2016 年 1 月 1 日～ 2022 年 4 月 28 日までの間、附属病院脳神経外科を受診し、悪性神経膠腫と診断され、生検手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

脳深部悪性グリオーマ脳腫瘍患者の抽出済み DNA 保管検体を使用します。WHO2016 年分類で診断し、保管済み検体の後方視検討です。従来、手術施行し WHO2016 分類で診断した症例のうち、内視鏡生検の患者のみ対象とします。従来検査した保管されている凍結標本の残余検体を再利用します。検査法は MLPA 法を用い、従来検査項目以外に TP53、PTEN、EGFR、PDGFR、CDKN2A/B を追加して検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	脳神経外科学講座、准教授、浅野研一郎 電話 0172-39-5115 Mail asanoken@hirosaki-u.ac.jp
-------	--